

平成26年度における大学図書館の概要

図書館活動

① 図書資料の収集・整備

本学図書館において、平成26年度の受入を行った結果、累積所蔵数は、図書443,009冊、雑誌2,481種となった。その詳細は、下記蔵書数のとおりである。

※ 蔵書数（平成27年3月31日現在）

ア 図書（累計所蔵冊数）※研究室保管図書含む

区分	和書	洋書	計
中央図書館	280,122冊	78,856冊	358,978冊
日進図書館	67,009冊	16,932冊	84,031冊
計	347,221冊	95,788冊	443,009冊

イ 学術雑誌（累計所蔵種数）

区分	和書	洋書	計
中央図書館	1,473種	670種	2,143種
日進図書館	184種	154種	338種
計	1,657種	824種	2,481種

ウ 年間図書資料受入数（製本雑誌、寄贈図書、移管受入図書を含み、廃棄資料は含まない）

区分	和書	洋書	計
中央図書館	3,252冊	718冊	3,970冊
日進図書館	752冊	148冊	900冊
計	4,004冊	806冊	4,870冊

エ 視聴覚資料（カッコ内は除籍点数）

区分	平成26年度受入数	計
中央図書館	249（26）点	19,004点
日進図書館	81（1）点	3,232点
計	330（27）点	22,236点

②ラーニングコモンズ空間等の積極的活用

2014（平成26）年度の図書館は、図書館長のもと、専任職員9名（中央）、委託職員4名（日進）の両館合わせて13名で構成、運営している（うち司書有資格者10名）。累積所蔵冊数等は図書443,009冊、雑誌2,481種。データベース20種、電子ジャーナル7種、視聴覚資料22,235点を所蔵。

2014（平成26）年3月に設置したラーニングコモンズは、平成26年度、従来の学生の図書館利用の方法や雰囲気を一変させた。学修支援プログラム（①新入生用②在学生用③レポート作成④就活支援⑤卒論支援）の実施は、多くの教員の協力のもと、学生に図書館資料の利用、学術情報・データベースへのアクセス方法、検索方法等の修得に関して、大きく貢献した。学生は、貸出可能なタブレット端末30台を活用し、図書館を介したさまざまな情報源に対して検索を行い、課題作成やレポート、卒業論文作成の事前、過程、事後の学習プロセスにおいて、主体的かつ能動的に情報収集を行い、必要な情報を選択し整理し、新たな知識を創造するという知的生産を計画的に実行している。同時にその成果を学生同士が共有し、ディスカッションを行ったり、他人と協調しコミュニケーションをとりながら学修を進め、共に学び合いながら知識を定着させるという姿を多く見かけるようになった。

また、ラーニングコモンズで行った学修支援プログラムと併行して、学術情報資源が劇的に増大し複雑化するなかで、利用者が目的の情報を探索することを容易にするため、個々の利用者の求めに応じて<レポ探>サービスを随時実施し、利用者サービス機能をさらに強化した。

図書、雑誌、データベース、電子ジャーナル、機関リポジトリそして視聴覚資料等、利用者は

大学図書館ホームページ上のOPACにアクセスすることで、求める情報をパソコンやスマートフォン、タブレットなどで入手できる。また、図書館ホームページ上の蔵書検索機能をはじめ各種データベース検索機能を備え、他大学や研究機関への文献複写や資料の貸借依頼も可能である。また国立情報学研究所の図書館相互貸借サービスにも加盟し、料金相殺サービスの適用も行っている。

③学術機関リポジトリの構築

平成27年2月末の時点で合計709本の論文の公開を行った。また、今年度は新たに博士論文の公開を開始した。来年度以降には、本学教員による学協会誌掲載の論文の本学機関リポジトリへの掲載を実施する予定である。現在その準備を進めているところであり、公開本数のさらなる増加につとめていくことになっている。

④図書館活性化事業

平成24年度より開始した図書館活性化事業のうちの一つであるライブラリーサポーター（学生）による選書ツアー（書店とのコラボ）及び企画展は、図書館利用者に好評で、多くの図書館ファンを醸成しつつある。今後は、この制度のさらなる充実と魅力化に向けて、学生の自主的な企画を増やした企画を創出していく準備をしている。

⑤地域開放その他

平成26年度に入って、絵本等資料の充実した2階「絵本コーナー」には、ロコミで知った近隣一般女性が、乳幼児を伴って来館される姿を頻繁に垣間見られるようになった。そのみならず、一般女性の利用は、新規登録者が昨年度に比べ46名増加、入館者数は272名ではほぼ倍増（昨年度136名）、館外貸出冊数は539冊で、ほぼ3倍（昨年度180冊）と急激に増加し、着実な広がりを見せてきている。本学加盟の東海地区図書館協議会の加盟館同士（本学と公共図書館）の間で行われた中央図書館でのサービス実績は、相互貸借の依頼が21件、受付が9件、また文献複写の依頼が1件・受付は1件であった。（相手機関は、名古屋市図書館、日進市立図書館等。）

図書館の管理運営については、その必要事項を審議するために、図書館長の下に各学部選出の委員で構成する図書館運営委員会を設置、図書館運営上の重要事項を審議している。

2013（平成25）年10月の図書館運営委員会において2014（平成26）年度以降「環境整備費」枠の設置が制度的に決定された。図書館運営委員会においてラーニングコモンズの中・長期的環境整備計画〔案〕を立案し、日進図書館を含めた図書館の学修環境のさらなる改善を、継続して実施していくことを模索している。

利用者サービス状況

区分			中央図書館		日進図書館	
			平成26年度	平成25年度	平成26年度	平成25年度
開館日数			282	248	288	258
入館者数			103,025	85,757	29,801	32,553
貸出冊数			45,190	38,785	11,925	11,924
相互協力	文献複写	依頼件数	1,144	1,272	139	148
		受付件数	1,136	655	221	280
	閲覧	依頼件数	5	6	2	4
		受付件数	40	504	9	69
	現物貸借	借用	49	40	26	24
		貸出	37	29	3	4